

ISSUP第2回講演会

学校における多様性と多文化
を育む教育実践
ー 国際バカロレアの教育実践
から見えてくることー

EDUCATION
PRACTICES TO
NURTURE DIVERSITY
AND MULTI-
CULTURES:
WHAT IS PERCEIVED
IN IB EDUCATION



12月4日（水） 14：30－16：00 S304教室

（使用言語：基本的に英語。質疑応答やディスカッションは日本語も可）

講師

Mr. Bradley Semans（さいたま市立大宮国際中等学校IB
コーディネーター・さいたま市）

Bradley Semans先生は、さいたま市立大宮国際中等学校の国際バカロレアのコーディネーターであり日本で20年以上の英語教育経験をもつ。さいたま市のALT主任講師として、英語のカリキュラム開発、教員研修、さいたま市の言語教育の改善に取り組んできた。大宮国際中等学校設立時には、市長や教育長とともに国際学校の設立のデザインと調査研究を行い、カリキュラム設計や教師教育に当たった。

国際バカロレア（IB）は、多様な文化の理解と尊重の精神を通じて、より良い、より平和な世界を築くことに貢献し、探究心、知識、思いやりに富んだ若者の育成を目的としています。国際化に資する人間の育成（IBを通して）をさいたま市立大宮国際中等学校で推進・実践しており、同市の英語教育法やプログラム開発者でもあるBRAD SEMANS先生より、中等学校での国際教育のあり方及び実践状況を聴き、日本の子どもの主体的参画、内省や批判的思考を促す実践や評価の意義と課題、小中学校の国際教育に求められることをともに考えます。

**人間の経験における言語の役割は何か。
ウェルビーイング、レジリエンス、コンピテンシーを育む
ために、教育者は言語をどのように活用できるか。
一緒に考えてみませんか。**

申込はこちらから↓
11月15日まで